

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立武田の杜保健休養林

所管課 林政部 県有林課

指定管理者 山梨県造園建設業協同組合

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県林業公社	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	130,720,000
公益財団法人 山梨県林業公社 (H25.6.30まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	217,278,000
山梨県造園建設業協同組合		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	207,542,000
山梨県造園建設業協同組合		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	169,598,555
山梨県造園建設業協同組合		R5.4.1	～	R9.3.31	4年	180,924,000

2 施設の概要

所在地	甲府市山宮町片山3371 外
設置年月日	昭和54年3月14日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立武田の杜保健休養林設置及び管理条例
設置目的	青少年その他の県民に自然に親しむ環境を提供することにより、健康の増進及び豊かな情操のかん養を図るため設置する。
主な業務の内容	(1)キャンプ場利用の承認に関する業務 (2)施設等の維持保全に関する業務 (3)森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 (4)鳥獣に関する知識の普及のための催しの実施及び鳥獣の保護に関する業務 (5)自然に関する知識の習得に資するレクリエーション及び野外活動の機会の提供に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○面積:2,500ha ○施設の内容 ・健康の森:サービスセンター352㎡、森林学習展示館88㎡、展望休憩室15㎡、キャンプ場ログキャビン3棟、癒しの小径10.9km等 ・樹木見本園:休憩舎34㎡等 ・幹線遊歩道:遊歩道23.6km、展望休憩舎4棟等 ・鳥獣センター:管理棟369㎡、展示館210㎡等
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	43,720,269	44,661,280	42,774,403	44,607,606	44,988,649	
支出合計	43,492,925	44,372,094	42,196,587	43,246,056	42,976,371	
収支差額	227,344	289,186	577,816	1,361,550	2,012,278	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	93,927人	49,144人	55,813人	66,148人	69,179人	利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和5年度)

令和5年度 利用者数 目標値 56,860人 → 実績値 69,179人
 目標値に対し121.7%と目標値を上回る利用状況であった。
 また、利用者満足度は、「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計が昨年度を上回る99.6%となり、目標の80%を超えており、安定的に利用者から好評を得ることができた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

情報発信に力を入れたことにより、新たな利用者を獲得し、利用者数は前年度比121%と大きく増加したことは評価できる。また、利用者満足度についても、キャンプ場の利用者のための組み立て式グリルの導入や施設の美化活動、安全対策の徹底など、利用者の利便性、快適性の向上に努めたことにより、高い評価を得ている。

イベントについては、年間52回の森林セラピーを実施し、昭和のキャンプ体験や身近な植物学講座といった施設の特色を活かした新規事業を積極的に実施し、利用者増加につなげている。

定期評価については、デイキャンプ場の利用件数、自然体験プログラム等の実施回数を評価指標として設定し、実績が目標値を上回る結果となった。

施設の管理において、利用者からの情報提供を受け、遊歩道の倒木処理を実施したが、トレイルランニングレースをはじめとした、利用者が増加するイベント前には、管理者による積極的な点検を実施するよう指導した。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

イベント前に関係者と協力し、利用する遊歩道の巡視を行い、倒木や落石を除去し利用者の安全を確保したことで、イベント参加者のアンケートにおいて利用者満足度の向上につながった。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立武田の杜保健休養林

所管課 林政部 県有林課

指定管理者 山梨県造園建設業協同組合

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	利用者数	93,927	49,144	55,813	66,148	69,179
	利用者数合計	93,927	49,144	55,813	66,148	69,179
	目標値	100,600	100,600	101,600	102,600	56,860
	実績/目標割合	93.4%	48.9%	54.9%	64.5%	121.7%
	目標値の設定方法	令和元年度～令和4年度:事業実施計画書(前年度目標値×1.01) 令和5年度:令和3年度利用者数+1,047人(56,860人)				
利用率	稼働率等(利用率)	297人/日	157人/日	179人/日	211人/日	218人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者人数/営業日数(R5:317日)				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	山梨県森林公園金川の森(どんぐりの森、スポーツの森、かぶとむしの森等)
----------	-------------------------------------

3 補修工事等の状況(令和5年度)

(単位:円)

県	武田の杜幹線遊歩道修繕工事	1,862,300
県	武田の杜森林整備業務	1,614,800
管	受水槽給水管ストレーナー交換	77,000
管	キャンプ場浄化槽及び放流槽フロートスイッチ交換工事	66,770
管	スチールヘッジトリマー修理 外2件	65,417

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和5年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
3	随意契約	売上額の19%	79,157	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	ツリークライミング養成講習会	16才以上	自由広場
2	ジュニアトレイルランニング	幼児、 小中学生、 保護者	健康の森
3	親子緑の集い	小中学生の 親子	健康の森、 会議室
4	昭和のキャンプ体験イベント	一般利用者	キャンプ場
5	武田の杜トレイルランニングレース	高校生以上	武田の杜
6	武田の杜自然情景掲示板	一般利用者	武田の杜 サービス センター
7	ビギナー探鳥会	小学生以上	健康の森
8	身近な植物学講座	中学生以上	武田の杜 サービス センター
9	夜景鑑賞会(夜桜と夜景観賞、夏期夏休み、冬期冬空鑑賞)	一般利用者	第一駐車場
10	キャンプ場利用促進事業	一般利用者	キャンプ場

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和5年4月～令和6年3月 実施方法: 来園者へのアンケート 回答数: 300人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①開園日、開園時間	87.1%	9.7%	3.2%	
②料金設定	81.0%	18.0%	1.0%	
③申込方法	74.0%	22.2%	3.4%	0.4%
④整備・施設状況	84.2%	15.8%		
⑤プログラムの内容	94.4%	5.0%	0.6%	
⑥スタッフの対応	85.7%	12.5%	1.2%	0.6%
⑦森林学習展示館の内容	75.4%	21.1%	3.5%	
⑧施設全体の満足度	81.3%	18.3%		0.4%
施設全般の満足度	81.3%	18.3%		0.4%
利用者の主な意見	<ol style="list-style-type: none"> 1 倒木があつて危険なので対応してもらいたい。 2 スズメバチの巣があり怖いので駆除してもらいたい。 3 有料施設の申し込みについてネット予約もしくはメールで申し込みできるといい。 4 ヤマビルがいて気持ちが悪いので何か対策できないか。 			
利用者の意見への対応	<ol style="list-style-type: none"> 1 管理者(国、市等)へ連絡し、対応を依頼した。 2 巣を駆除した。駆除できない箇所については、ロープを張り注意看板を設置した。 3 ホームページに申込書(エクセルファイル)を掲載し、メールで申し込みできるようにした。また、来年度ホームページの全面改修を予定しており、ネット申し込みについても検討中である。 4 ヤマビルへの対策としてサービスセンターに忌避剤を設置している。また、キャンプ場利用者へは受付時に忌避剤を貸し出ししている。 			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>武田の杜新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインに基づき消毒作業を行うなど感染防止対策を行うとともに、施設の美化活動や安全対策を徹底し、利用者の快適性の向上に努めた。</p> <p>浄化槽、電気設備、消防設備、給水施設等の点検、修理を実施した。</p> <p>デイキャンプ場の老朽化した流し台及び鉄製の炉を7基すべてを新しく製作し設置した。</p>	<p>業務計画書に基づき、適切に施設の維持管理を実施している。</p> <p>設置から年数が経過している施設等もあるため、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に対応し、安全・安心な施設を維持すること。</p>
運営業務	<p>森林セラピー事業において、企業や団体への働きかけを行い、その結果、甲府市役所の福利厚生事業として多くの市職員が森林セラピーを体験した。また、農林大学校や甲武信ユネスコエコパークの協議会と連携し、生徒や会員の研修として多くの方の参加を得た。</p> <p>キャンプ場のテントサイト利用者のために組み立て式グリルを新たに購入するなど利用者の利便性に努めた。</p> <p>近年発生したヤマビル対策として、忌避剤を購入し施設利用者に利用を呼び掛けた。</p>	<p>企業や団体へ働きかけを行ったことで、より多くの利用者を得ることができたことは評価できる。</p> <p>ヤマビルについての意見が多いため、引き続き利用者へ説明を行う必要がある。</p> <p>今後も利用者からの意見を真摯に受け止め、利用者満足度の向上を図ること。</p>
利用状況	<p>各種団体や自治体などの団体利用を受け入れたり、新たな自主事業を計画し、利用者の確保を図った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症が5類となり施設利用制限が全面的に緩和されたことや、野外活動への需要が高まったこともあり、利用者数は69,179人と目標の121.7%の達成率となるなど非常に多くの方々の利用があった。</p>	<p>訪問営業やイベントガイド等の配布を行い、団体利用につながったことで、目標の利用者数を大きく上回った。</p> <p>今後も広報に力を入れ、施設の魅力を発信することで多くの人々の利用を促進し、自然と人間社会の共生や持続可能な社会づくりについて普及啓発すること。</p>
収支状況	<p>人件費の増は、草刈業務を委託していた者を職員として採用したためであり、その分、委託費が減となっている。</p> <p>租税公課費の増は、消費税分が令和4年度までは「その他」に入っていたためであり、科目の変更によるものである。</p> <p>収支差額の増については、当初HPの全面改修を行う費用の支出を見込んでいたが、MTBエリアの工事が行われ、MTBのレンタルや予約などの運営方法が定まっておらず、HP改修ができなかったことによる大きい。</p>	<p>科目変更等により、科目によっては増減が大きく見えるところもあるが、全体的には収支がプラスであり適正に管理されている。</p> <p>来年度はホームページの全面改修が予定されていることもあり、今年度以上の管理経費の抑制に取り組むこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
自主事業	ジュニアトレラン等、参加人数がコロナ前のレベルに戻っていないものもあるが、新たに昭和のキャンプ体験イベントや身近な植物学講座などのイベントを計画・実施し、利用者ニーズへの対応を行うなど集客に努めた。	概ね計画していたイベントを実施し、新たなイベントを計画したことでさらなる利用者の増加につながった。今後も県民が自然に親しむことができるイベントを実施すること。
利用者満足度	利用者が安心して快適に楽しく過ごせるよう管理運営に努めた結果、アンケートでは、プログラムの内容、スタッフの対応等すべての項目で高い評価をいただいている。今後も高い評価を得られるよう努めていきたい。	「満足・どちらかといえば満足」の比率が99.6%と非常に高く、昨年度に引き続き利用者サービスに努めていることが評価できる。今後とも利用者のニーズに配慮した運営に取り組むこと。

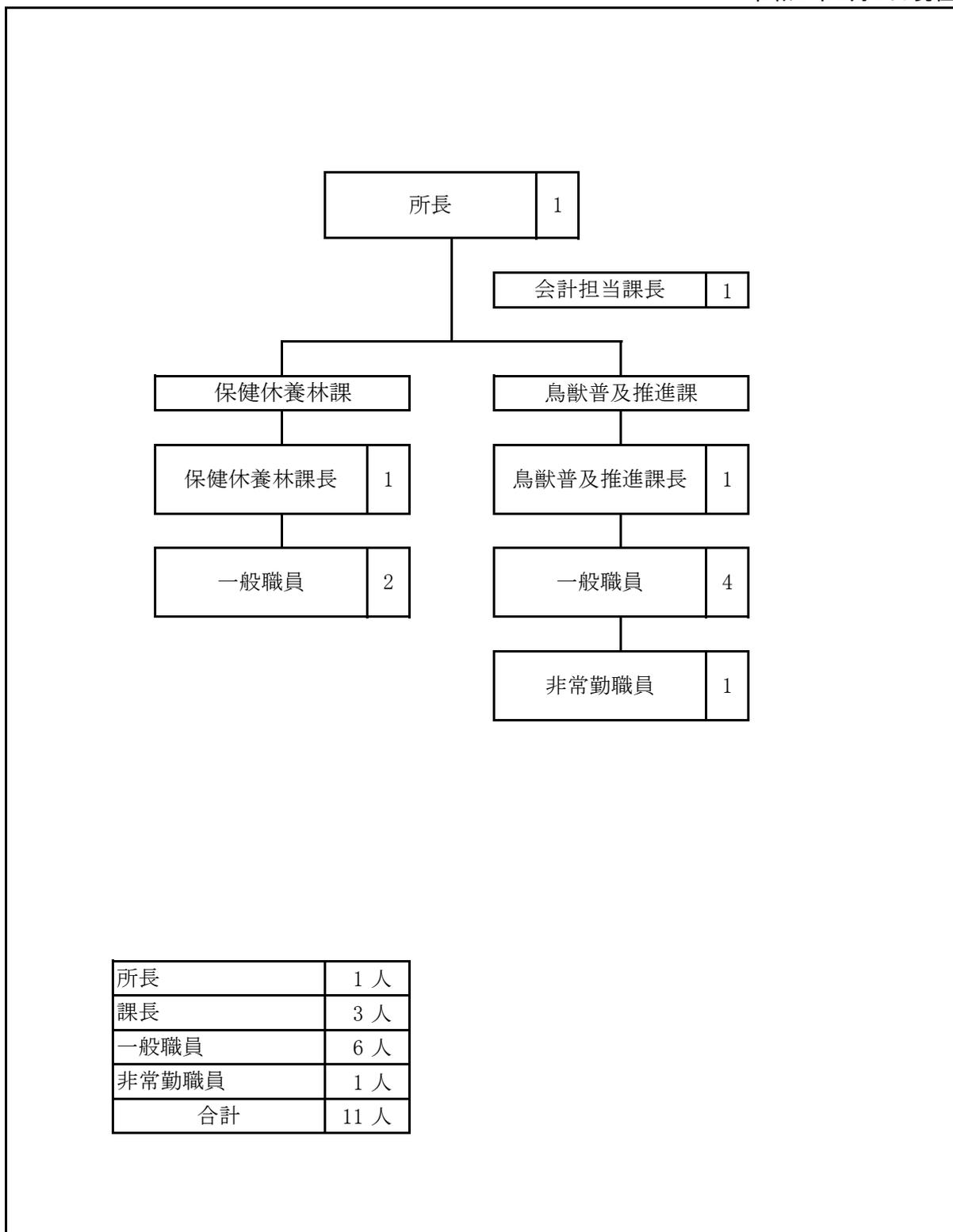
9 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
森林公園の有料施設の利用促進	施設の利用促進を図るため、デイキャンプ場の利用件数を評価指標とし、目標値を78件に設定。 アフターコロナでキャンプ等アウトドア人気の上昇により、101件の利用があり、実績が目標を上回った。	アウトドア人気を見据え、引き続き施設の整備等をしっかり行い、利用促進に努めること。
森林セラピーを含む通年の自然体験プログラムの提供	自然に親しむレクリエーションや野外活動の機会を提供するため、森林セラピーをはじめとする自然体験プログラム等の実施回数を評価指標とし、目標値を64回に設定。 リピーターを意識した既存プログラムの改良やアンケート結果から利用者のニーズに応えた新規事業を拡充させた結果、76回と実績が目標を上回った。	今後も利用者のニーズに応えるプログラムの提供を心がけ、新たな利用者獲得のため広報活動にも力を入れること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在



所長	1 人
課長	3 人
一般職員	6 人
非常勤職員	1 人
合計	11 人